

DFD6361 メンテナンス2

(Rev. 7.00)

Trainee (受講者)	
Company (会社名)	

Period (期間)	
Trainer (トレーナー)	

Module (モジュール)	Page (ページ)	Sign-off (サインオフ欄)		
		Date (日付)	Trainee (受講者)	Trainer (トレーナー)
Day 1				
1. 装置構造				
1.1. 安全回路と機能を確認する	2			
1.2. 装置内の電気接続を理解する	6			
1.3. 電気部品の配置を理解する	11			
1.4. 各基板の機能を理解する	20			
1.5. 各軸の原点位置を理解する	36			
1.6. サーボモータドライバのエラーコードを理解する	46			
1.7. スピンドルモータドライバのエラーコードを理解する	51			
1.8. ステッピングモータドライバとスピンドルドライバの設定を理解する	57			
1.9. 配管図を理解する	60			
1.10. チャックテーブルセットアップの原理を理解する	64			
2. 点検・調整				
2.1. ウォータカーテンおよびエアーカーテンの角度の確認と調整を行う	67			
2.2. カッティングルーム仕切り板の高さ調整を行う	75			
2.3. ダイヤルゲージの使用方法を理解する	79			
2.4. X軸の真直度を測定する	82			
2.5. ※ X軸とスピンドルの直角度を測定する	117			
2.6. ※ X軸とスピンドルの直角度の調整を行う	185			

【注意】 下表で「※」が付いているモジュールは、お客様の装置の仕様により実施できない可能性があります。詳しくは、本サインオフシート末尾の Technical Newsletters (#tnt12016-0021j) をご参照ください。

Module (モジュール)	Page (ページ)	Sign-off (サインオフ欄)		
		Date (日付)	Trainee (受講者)	Trainer (トレーナー)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 【注意】 下表で「※」が付いているモジュールは、お客様の装置の仕様により実施できない可能性があります。詳しくは、本サインオフシート末尾の Technical Newsletters (#tnt12016-0021j) をご参照ください。 </div>				
Day 2				
2.7. チャックテーブル上面平行度を測定する	198			
2.8. ※ チャックテーブル上面平行度の調整を行う	210			
2.9. ※ 搬送精度の確認を行う	227			
2.10. ※ ワーク搬送位置の調整を行う	235			
2.11. ホイールカバーノズルの調整を行う	264			
2.12. ピクセルサイズメジャーを実行する	298			
3. 部品交換				
3.1. 顕微鏡LEDライトを交換する	306			
3.2. ジャンパピンおよびスイッチを設定して基板を交換する	315			
3.3. ロータリスイッチおよびDIPスイッチを設定してモータドライバを交換する	333			
3.4. 軸センサを交換する	339			
3.5. 非接触セットアップセンサを交換する	352			
3.6. ブレード破損検出器センサを交換する	366			
3.7. ※ 顕微鏡ユニットを交換する	376			
4. 付録				
4.1. (付録)DFD6361精度検査表	387			
4.2. (付録)水・エア配管図【標準仕様】	390			
4.3. (付録)電気回路図【標準仕様】	401			

各コースの研修対象者および研修目標について

コース名	研修対象者	研修目標
オペレーション	<ul style="list-style-type: none"> ・該当装置を操作したことがない方 ・装置のデータや機能設定を行う方 	<ul style="list-style-type: none"> ・操作に必要な用語を理解し、装置に設定済みのデータ呼び出して製品を加工するスキルを習得します ・装置を稼働させるためのデータ作成および設定、機能設定するスキルを習得します
メンテナンス1	<ul style="list-style-type: none"> ・オペレーションコースを修了した(または修了相当の装置オペレーションスキルを習得済みの)方 ・装置の定期的な保守作業を行う方 	<ul style="list-style-type: none"> ・装置付属のメンテナンスマニュアルに記載されている定期保守項目・消耗品交換項目を、確実かつ安全に実施するスキルを習得します
メンテナンス2	<ul style="list-style-type: none"> ・メンテナンス1コースを修了した(または修了相当の装置メンテナンススキルを習得済みの)方 ・装置付属のメンテナンスマニュアルに記載されていないレベルの保全作業を行う方 	<ul style="list-style-type: none"> ・装置付属のメンテナンスマニュアルにないメンテナンス項目のうち、特殊な治工を必要とせず、かつメーカーデータにアクセスする必要のない作業のスキルを習得します

Technical Newsletter

#tnl2016-0021j

ダイシングソーの研修コース「階層 3（またはメンテナンス 2）」を 受講されたお客様へ

はじめに

2012年1月1日以降に出荷されたダイシングソーのうち、機械指令^{※1}（CEマーキング^{※2}）に対応する装置は、より安全に配慮した設計に変更されています。そのため、研修で実施したメンテナンス作業の一部がお客様に実施していただけないこととお知らせします。

<このお知らせの対象装置>

お客様の 保有される装置	2012年1月1日以前 出荷	2012年1月1日以降 出荷	
		機械指令 対応装置	機械指令 非対応装置
DAD322	対象外	対象	対象外
3000 シリーズ ^{※3}	対象外	対象	対象外
6000 シリーズ ^{※3}	対象外	対象	対象外

※1 機械に対する「必須安全要求事項」を定めたもの。

※2 「必須安全要求事項」に適合することを証明するマークで、製品を EU 地域へ輸出する際に貼付が義務づけられる。

※3 DAD3650, DFD6341, DFD6560 は標準仕様で機械指令に適合しているため、標準仕様の場合は出荷時期にかかわらずすべての装置が**対象**となります。

対象装置の識別方法

対象装置には、外装カバー等のセーフティスイッチ付近に下記ラベルが貼付されています。

各装置の具体的な貼付箇所については、添付資料をご参照ください。



該当メンテナンス作業

対象装置で下記メンテナンス作業を実施すると、安全機構（インターロック）が作動し、軸電源が遮断されます。したがって、お客様に実施していただくことができません。

装置	該当メンテナンス作業
DAD322 3000 シリーズ	<ul style="list-style-type: none"> ● 顕微鏡交換 ● 精度調整 ● スピンドル交換
6000 シリーズ	<ul style="list-style-type: none"> ● 顕微鏡交換 ● 搬送調整 ● 精度調整 ● スピンドル交換 ● スピンナシール交換

ご対応方法

前述のメンテナンス作業が必要な場合は、弊社カスタマーエンジニアに作業をご依頼ください。

お問い合わせ

本件についてのお問い合わせは、研修センター (trainctr@disco.co.jp) または弊社営業担当までお願いいたします。